



Rainbow letter

2021.9

No. 25

日本周産期メンタルヘルス学会・ニュースレター

第17回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会

テーマ 一人ひとりの妊娠・出産・育児 ～母子の視点で考える～

Web開催 2021年10月 23～24日（ライブ）、16～31日（オンデマンド）

学術集会開催がいよいよ来月に迫ってまいりました

大変ご心配をかけていることと思いますが、会員の皆様、学術集会運営会社様、学会事務局様の力を借りながら予定通りに準備を進めております。また編集委員会のご配慮により学会誌の発行を早めて、8月に皆様に学会ポスターを届けることができました。

一般演題は53演題が集まり、全て採用の予定です。また共済セミナー3題をお願いすることになりました。プログラム・日程表の詳細は学術集会HPを確認いただければと思います。一般演題の中で優秀演題候補として6題程度を選び、その中から岡野賞（最優秀演題賞）を選考し授与いたします。

参加登録の方には事前に抄録集を送付する準備をしていますので、抄録集を見ながらプログラムを視聴していただけます。少しでも多くの学会員の皆様に参加登録をしていただくと幸いです。

至らないところも多々あるかもしれませんが、学術集会開催までどうぞよろしくお願い申し上げます。

大会長 笠井靖代（日本赤十字社医療センター第二産婦人科部長）

プログラム紹介（一部）

シンポ1「産後ケアと地域連携」

産科施設、地域行政、産前産後ケア推進を実践する団体、日本産婦人科医会それぞれの立場から、支援を要する親子へ円滑に支援を届けるためにはどうあるべきかを考えます

シンポ2「女性にとっての出産の体験を考える」

女性の産む力を尊重した出産、女性の気持ちに寄り添う授乳支援について考えます。出生数が80万を割る現状において、出産体験が当事者にとってどのようなものかを考えることは大切です

シンポ3「母親にとって実効性のある支援とは」

子育て番組の制作者、助産師、父親学級を開催し産前産後の父親の役割について発信する事業者、精神科医が、実効性のある産後の支援について職域の枠を超えた議論を行います

その他のプログラムについては学術集会専用サイトへ！
<https://www.procomu.jp/pmh2020/index.html>

<連載企画> 私たちのまちのメンタルヘルスケア活動 ④

福島県立医科大学附属病院における周産期メンタルヘルスの取り組み

服部桜（福島県立医科大学附属病院みらい棟3階東病棟助産師長）

福島県立医科大学附属病院は県内唯一の総合周産期母子医療センターであり、産科および心身医療科病棟を有しているため、県内各地から特定妊婦が集まります。当院では、周産期メンタルヘルスケアへの取り組みが2018年4月からスタートしました。以前からメンタルヘルスケアへの関わりが難しい妊産褥婦が増加していると感じており、産科医師とともにアドバンス助産師を中心に妊産婦メンタルヘルスケア関連の研修を受け、準備を進めました。2018年8月からは特定妊婦カンファランスが立ち上がり、月に1回、産科・心身医療科・新生児科医師、産科病棟・外来助産師、NICU看護師、臨床心理士、患者サポートセンター看護師およびMSWらで対象妊産褥婦の現状を共有し、治療方針や合同カンファランスを含めた支援の必要性について検討しています。福島県は面積が広く、定期カンファランスに各地域の保健師の参集は困難です。そのため、定期カンファランスは院内スタッフのみとし、個別対応が必要な事例に対しては、保健師等との合同カンファランスを計画的に開催する体制としております。緊急を要する事例が1～2件/月ありますが、体制が整っているため適時合同カンファランス開催が可能となっています。

福島県では2021年4月から産後2週間健診の助成が開始となり、当院でも健診を全例実施するために助産師が増員されました。これを機に産科病棟と外来が一元化され、産科外来において安定した助産師の人員確保が可能となり、助産師外来の予約枠も増やすことができました。それにより、特定妊婦のみならず、全ての妊産婦へ助産師がしっかりと関わるのが可能となりました。産後に「特定妊婦」や「気になる妊婦」ではない方がボンディング障害で支援が必要となるケースが少なからずあります。助産師が妊娠中から継続的に関わることで、全ての妊産褥婦が安心して地域で子育てできるように妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援をしていきたいと思っています。



↑ Zoomによる地域との合同カンファランスの様子

産科医、小児科医、病棟師長、病棟助産師、患者サポートセンター看護師、MSWと地域の保健師、助産師をオンラインでつないでいる

企画・発行：日本周産期メンタルヘルス学会 情報関連委員会

当学会では会員の皆様にとって有用な情報をニュースレターで取り上げていきます。
ご意見やご要望がありましたら事務局までお知らせください。